



SB-22 スパッツ

出来上がりサイズ・必要用尺

	ヒップ (ヌード寸法)	股上	股下			裾幅 (12分)	用尺 (110cm 幅 以上)	平ゴム (2~2.5cm 幅)
			七分	フル	12分			
SS	68.5(80)	25.5	54	72	77	26.8	七分丈	65
S	72.5(84)					28.8	100cm フルレングス	70
M	76.5(88)					30.8	120cm	75
L	80.5(92)	26	55			33	12分丈	80
LL	84.5(96)					35	130cm	80
90	51.5(52)	19			36	17.5	70	55
100	52(57)	20			42	18.5	80	60
110	55(60)	21			50	19.5	90	60
120	58(63)	22			54	21.5	90	65
130	63(70)	23			59	23.5	100	65
140	70(75)	24			66	25	100	70

- ニット地は、テンション中以上の物をご使用下さい。(テンションが低い物に関しては、サイズUPか補正が必要です)
- 子供用は、12分丈から-6cm が、くるぶし位置になります。
- ご使用のニットによって、着用感が大きく変わります。最後に記載の、補正方法も参考にして下さい。
- 生地幅によっては、大人用と子供用が並べて裁断可能です。実際にパターンでパンツ幅を計って確認してください。

縫い代について

パターンは全て 縫い代込み になっています。パターン内にある数字は、縫い代を表します。

その数字分、出来上がり線から縫い代を足してパターンを作成しています。

縫い方手順

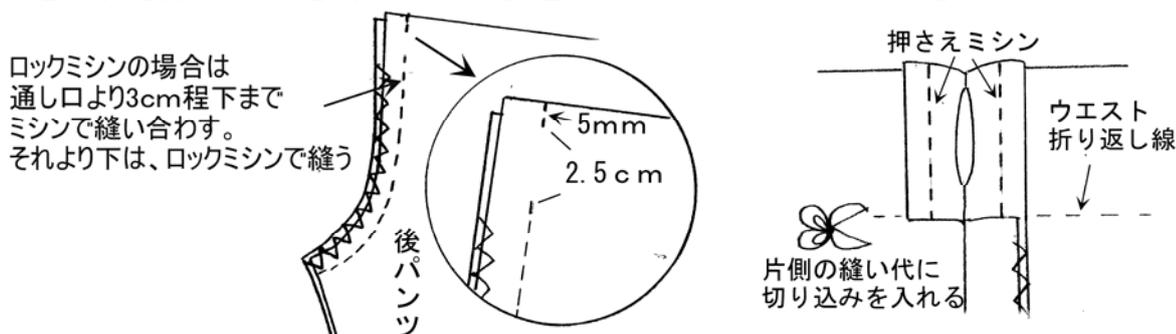
- ロックミシンご使用の方は、かがり幅に合わせ、縫い代が1cm になるように切り落としながら縫って下さい。家庭用ミシンをご使用の方は、本縫いをした後、縫い代を2枚合わせてジグザグミシンで端処理をして下さい。
- 必ず、ニット用の針、糸をご使用下さい。

1. 前後の股上を、それぞれ縫い合わせます。

後股上は、ゴム通し口分を縫い残します。

ロックミシンの方は、この部分だけミシンで本縫いし、通し口より下の部分からロックミシンで縫います。

縫い残した後、パンツの縫い代の片側に切り込みを入れ、ゴム通し口を作っておきます。



2. 脇、股下を縫い合わせます。

※ 着用感を試したい場合は、ここで履いてみて下さい。(丈も、見て下さいね)

ニットは履いているうちに伸びますので、何回か屈伸をするなどして試された方が良いでしょう。

3. 裾を縫います。

温度に注意しながら、縫い代を2cm 幅でアイロンで折ります。

カバーステッチ機能がある方は、カバーステッチをかけてください。

それ以外の方は、端処理をした後、ステッチを2本かけます。

※ 七分丈の場合は、履いた時、裾口の伸び率が高いので、カバーステッチ以外の方はジグザグミシンの方が無難です。

4. ウエストを縫います。

温度に注意しながら、縫い代を3cm 幅でアイロンで折ります。

カバーステッチ機能がある方は、カバーステッチをかけてください。

それ以外の方は、ジグザグ(もしくは3点ジグザグ)ミシンをかけます。(端処理は、してもしなくても構いません)

※ カバーステッチ以外の方は、ウエスト部分は伸び率が高いので、糸切れを防ぐため、必ずジグザグミシンで縫う事をお勧めします。

5. ゴムを通して出来上がりです。

仕上がり幅より、少し短いぐらいのゴムの長さで OK です。

■ パンツ幅を変える場合

スパッツは、ご使用のニット地の伸縮率により、仕上がり感がかなり違って来ます。

不安な場合は、少し大きめ(大人用はワンサイズ上)で作って、試着後必要なら脇で幅を調節して下さい。

子供用は、サイズを上げるのではなく、脇で幅を調節された方が綺麗に仕上がります。(サイズが変わると、膝の位置が変わってくるためです)

※ 前後同じ幅で、調節して下さい。

※ 0.5cm(裾計1cm、股上計2cm)広げても、ニットですので、着用感はかなり変わります。

※ ストレッチ素材(布帛)の場合は1.5~2cm 以上広げて下さい。(ヒップヌード寸法参照)

■ パンツの丈を変える場合

ラインをそのまま延長するか、お好みの所で短くして下さい。

※前後パンツ、同じ長さ分、調節して下さい。

